



いじめ撲滅宣言 ～わたしたちに出来ること～



各学年のいじめ撲滅宣言

<1年>

ともだちのいいところをいっぱい見つけます。
「ごめんね。」をいってなかなかおりをします。

<2年>

えがおいっぱいにするために
ほっとすることばをつかいます。

<3年>

ずれてたら、思いやりの道を通ります。

<4年>

いじめをせずにだれにでも、思いやりをもって
たんぽぽのように一生けん命に生きよう。

<5年>

勇気を出して、助け合い、幸せを分け合おう。

<6年>

私達は、一人一人の人権を大切に、
笑顔あふれる学校になるよう行動していきます。

11月25日、全校朝会にあわせて「いじめ撲滅宣言」を行いました。打上小では、11月5日から12月24日を人権月間と位置付け、人権擁護委員さんからの話を聞くほか、人権について、授業など様々な取組を通して学ぶ機会を設けています。こうして学んだことを下地に、各学級でいじめ撲滅に向けて話し合ったことを、全校の前で宣言しました。当日は、いじめ防止対策委員会を予定していたこともあり、委員である学校評議員の皆様にも参加していただきました。

左に紹介しているように、各学年とも、
これまでの行動を振り返り、これからいじめをなくすためにみんなで頑張りたいことを自分たちの言葉で表現しています。
借り物の言葉でない、子どもらしい表現がとても素晴らしいと思います。

これまでを見つめ、これからを創造する。子ども達が、しっかりと実現に向けて頑張ってくれるものと期待しています。

校長からも、「いじめの種」が「自分と違うことが許せない心」にあるのではないかという話をしました。反対に、「自分と違うことがすごいと思える心=やさしさの種」と考え、やさしさの種をたくさんつけて育てていきたいと思います。最後にお願いしました。

学校・家庭・地域ががっちり組めば、いじめはなくすことができます。
今後とも、保護者・地域の皆様のご協力をお願いします。



打上小の宝 ～時間を守る～



朝のチャイムダッシュ。

校庭で遊んでいる子どもたちが、8時のチャイムと同時に、一斉に教室に戻ろうとダッシュします。打上小では当たり前の“条件反射”のような動きですが、毎朝、感心しながら見ています。

時間を守ることは、時間を生み出すことにつながります。家庭ではいかがでしょうか? …打上小の宝、まだまだありそうです!

おめでとう! ★★★★★★★★★★★★★★

○ 秋の唐津市教育長表彰受賞

6年 全農杯2021年全国卓球選手権大会出場 坂本りゅうじろうさん

4年 全農杯2021年全国卓球選手権大会出場 坂本あいかさん

○ 学童オリンピック陸上競技県大会入賞

6年 共通女子 走幅跳 第3位 松本あいさん

○ 青少年読書感想文コンクール佐賀県審査入賞

4年 自由 佳作 「ハニーのためにできること」 貞金まさとさん

3年 課題 佳作 「宝ものの見つけ方」 宮田かほさん

○ きらり作文入賞

4年 「大変身したぼく」 坂本ゆうすけさん

2年 「二年一組のみんなへ」 平河ゆうさん

○ 学童美術展入賞

6年 県準特選 小野こうようさん

6年 県準特選 山口みなみさん

5年 県準特選 小笹こたろうさん

○ 全国教育美術展入賞

6年 唐津地区特選(全国審査中) 榎ゆうかさん

○ JA 共済小・中学生書道コンクール

1年 半紙の部 銀賞 谷口きょうすけさん

